

MASCOT Daemon バージョンアップ手順

以下に Mascot Daemon のバージョンアップ手順を記します。操作の概略としては、
必要なファイルのバックアップ

Daemon installer の実行

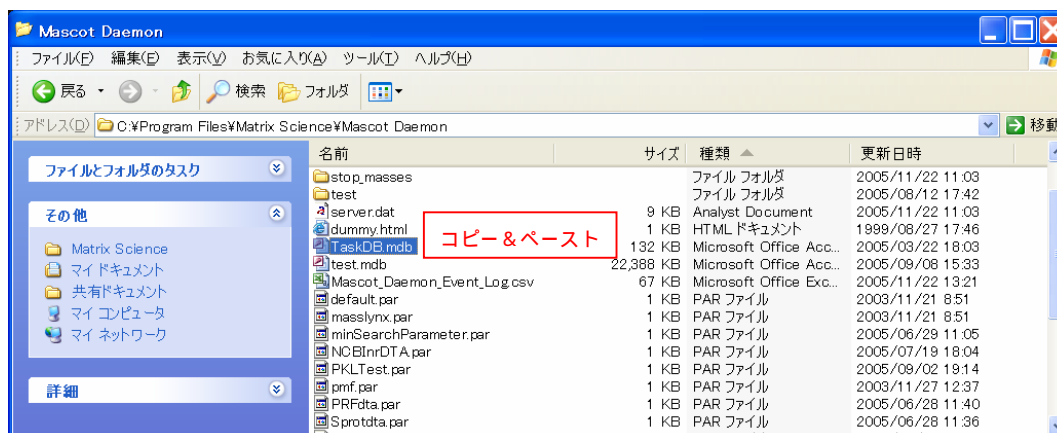
新規バージョン Daemon のインストール

となります。

1. 必要なファイルのバックアップ

C:\Program Files\Matrix Science\Mascot Daemonにある、

taskDB.mdb というファイルをコピーし、任意の場所にペーストします。



注 1 :

ver 1.9 より前のバージョンをご利用していた場合、Daemon がインストールされていた場所は、

C:\Program Files\Daemon

となります。この場合も上記と同様、TaskDB.mdb ファイルのバックアップをとります。

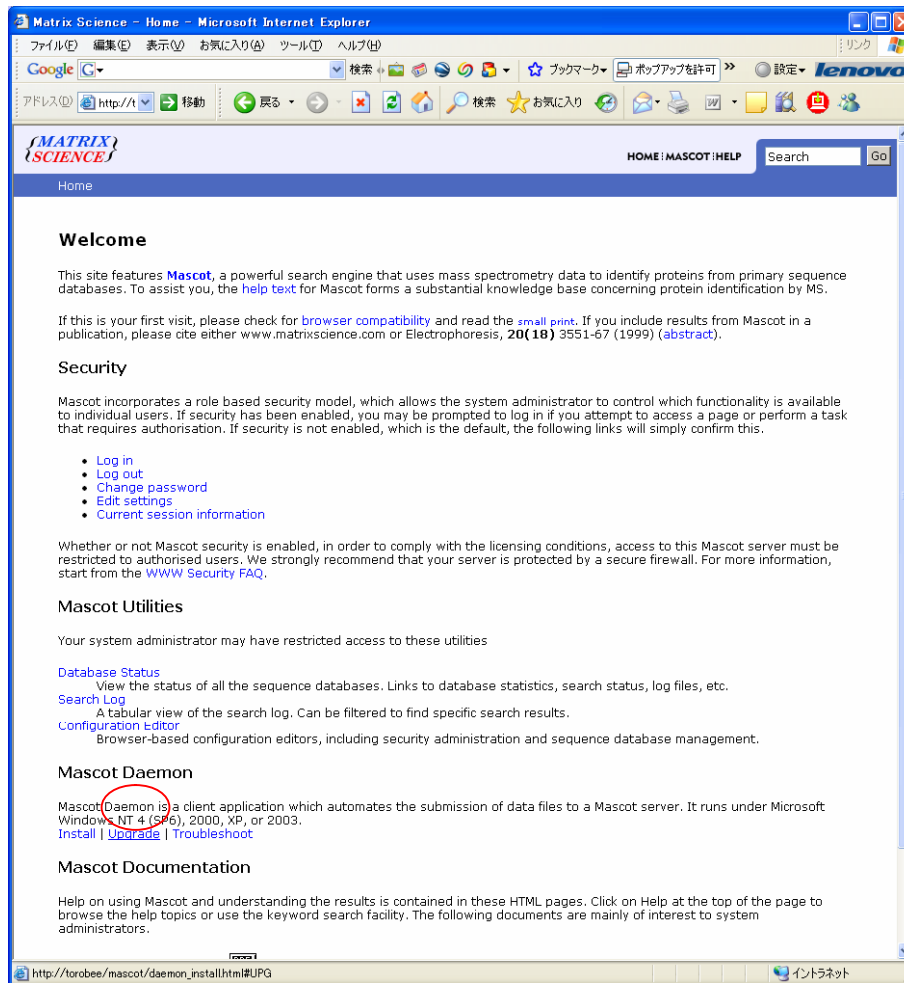
注 2 :

ご利用状況により、taskDB.mdb とは別に、類似の名前を持つ mdb ファイルが存在することがあります。この場合は、すべての mdb ファイルのバックアップを取ってください。

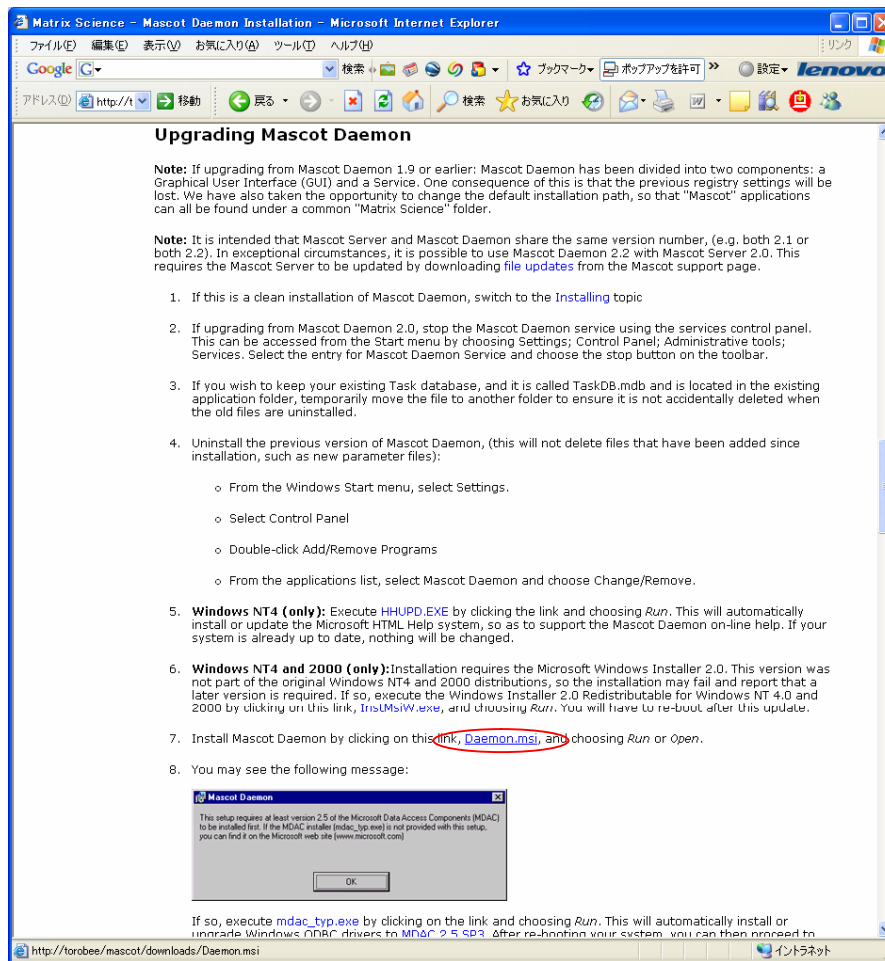
2. Daemon Installer の実行

MASCOT サーバーにある Daemon のインストーラーをダウンロード・実行することで、Daemon をインストールします。

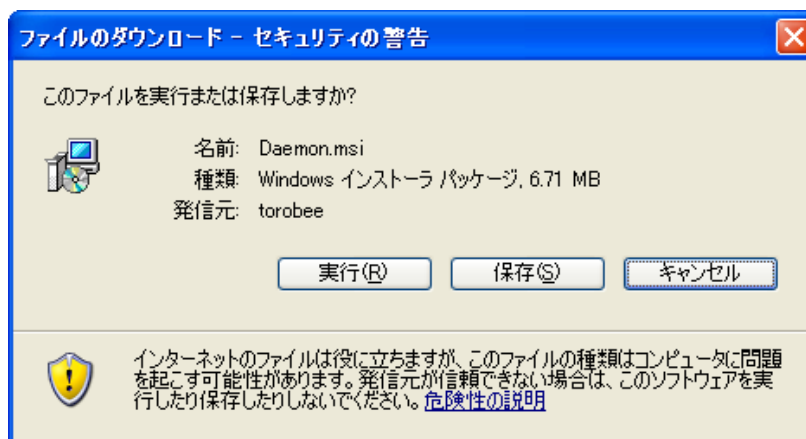
インターネットエクスプローラーなどの WEB ブラウザを開き、MASCOT サーバーの MASCOT ホームページにアクセスします。ホームページ中に”Mascot Daemon” の項目がありますので、その中の”Upgradel” をクリックします（下図）。



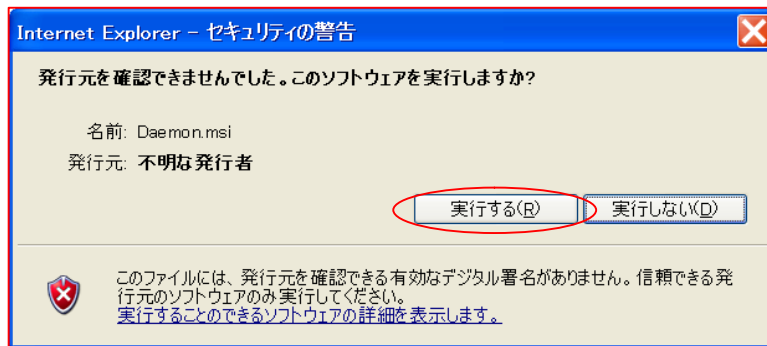
次の Web 画面の中から、手順の 7 にある、daemon.msi のハイパーリンクをクリックし、インストーラーを開きます（下図）。



実行 (R) を選択します。



WindowsXPなどで、“発行元が確認できませんでした”というメッセージがでることがありますが、“実行する”を押してください(下図)。



インストーラーが起動しますので、指示に従ってインストールを進めてください。

インストール終了後、Daemon を起動します。

スタート プログラム Mascot Mascot Daemon

旧バージョンが 2.0 以上の場合、以前の環境が保たれたまま Daemon が起動されます。(起動途中に、“taskDB.mdb ファイルは旧バージョンです。新バージョンに対応できるよう書き換えますか?”と聞かれた場合は、“yes”と答えてください。)この場合、インストール作業は終了です。

旧バージョンが 1.9 以下、または 2.0 以上でも以前の環境が復元できなかった場合、事項 5 の作業を行ってください。

3. バックアップファイルの再設定

まず、2 の “Mascot Daemon Service の停止”の手順に従い、Daemon サービスが停止しているかどうかを確認してください。

確認後、バックアップをとっておいた TaskDB.mdb を、
C:\Program Files\Matrix Science\Mascot Daemon\
へ上書きコピーします。コピー後、同じフォルダにある、“Daemon.exe”をダブルクリックして、Mascot Daemon を起動してください。

以上でバージョンアップ作業は終了です。

ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく弊社までお問い合わせください。

技術サポート

電子メール : support-jp@matrixscience.com

電 話 : 03-5807-7897

ファックス : 03-5807-7896